

第12号 2023年3月30日



技術営業グループ 常務取締役 今村芳敬

## ソイルボーン

ソイルボーンはリクルートニュースの第1号で紹介された、プレートドライヤーを使ってできた乾燥鶏糞をペレット化、高温殺菌を行った肥料の商品名です。

ソイルボーンの商標はハイテムが所有し、肥料成分、ペレット化、殺菌等の条件を満たしていればこの名前を使ってもよいことになっています。

何故、機械メーカーのハイテムが肥料のこともやっているかというお客様とWIN-WINの関係を築ける仕事だからです。

**SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS** 15 気候変動  
高品質 100% 有機普通肥料 **土が蘇る**

新鮮鶏糞を革新的技術で乾燥、殺菌した  
土壌、作物、環境に優しい新時代の万能ペレット肥料です

# ソイルボーン

**○本製品の特長**  
●ソイルボーンは、どんな作物にも効く万能肥料です。  
同時に、土壌を 軟らかくし、土壌細菌を活発にし、土壌の保水力を高め、エアレーションを促進し、土壌を元気にします。  
●殺菌処理がされており、安全、無毒です。  
●ペレットで敷きやすく、且つ根あたりの心配がなく、肥料成分がゆっくり効いていきます。

**○施肥料の目安 (1反(10a)当たり)**  
**野菜 10~12 袋 / 水稲 5~7 袋**

**肥料取締法に基づく表示**

登録番号	○○○○○○
原料の種類	鶏糞・牛糞・人糞・肥料
肥料の名称	ソイルボーン
保証成分率(%)	窒素全量 4.0
	りん酸全量 2.5
	カリ全量 2.0
正味重量	15kg
生産した年月	年月日
生産業者の氏名又は名称及び住所	○○○○○ ○○○○○○○○○○○○

この図は、正しい方法で使用する際に、適切な効果が得られることを示しています。  
※本製品の品質を維持するため、開封後は必ず密封して保存してください。  
※本製品の品質を維持するため、開封後は必ず密封して保存してください。

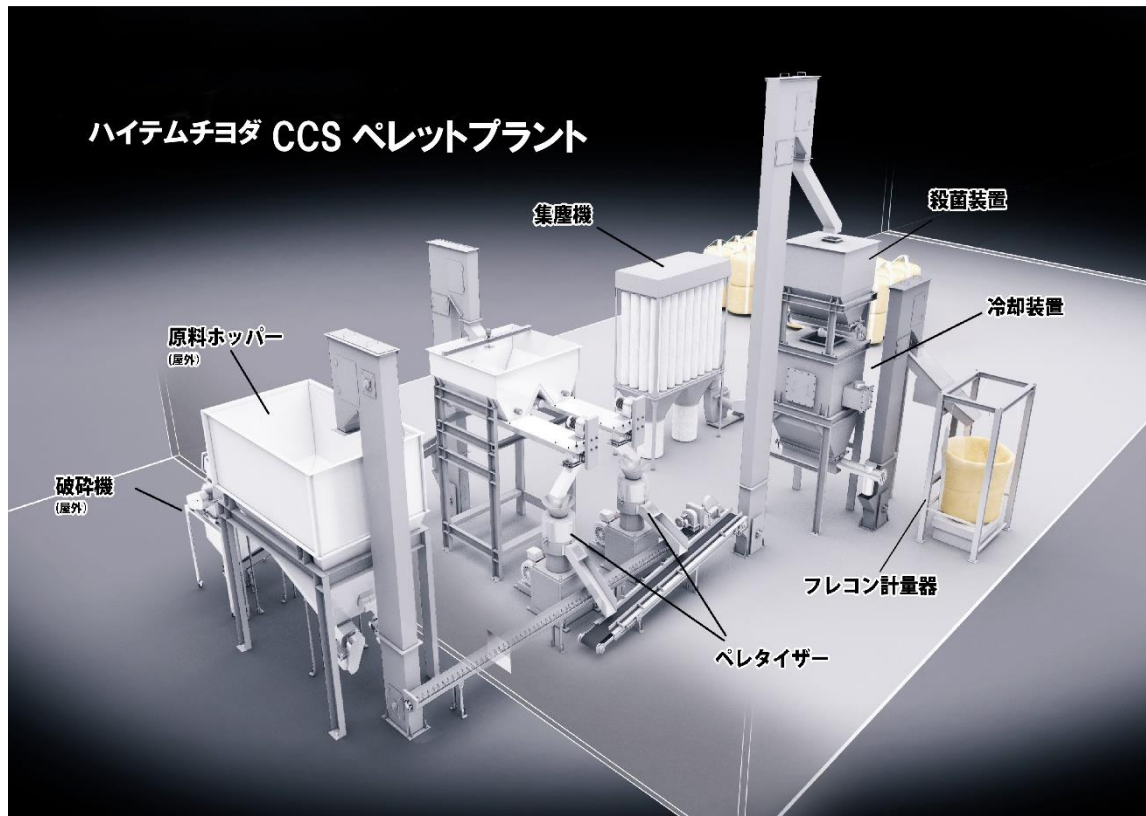
**NET 15kg**

バーコード

大まかにいって、1羽の鶏は毎日100gの餌を食べ、200ccの水を飲み、1個のタマゴを産んで、120gの糞をします。例えば100万羽の農場では毎日80万卵のタマゴを生産していますが、120トンの鶏糞も出てきます。

今までの鶏糞の処理は発酵させて、その熱で水分を飛ばして減量して、肥料として販売するのが普通でした。しかし、鶏糞は発酵すると鶏糞の中の窒素分がアンモニアになって悪臭の原因になり、且つ肥料3大成分の一つ窒素成分が半減します。120トンの鶏糞から出る悪臭は、押さえるのが大変なことは想像がつくと思います。また、できた発酵鶏糞は肥料として販売されるのですが、価格も安く、鶏糞処理はコストがかかり、養鶏場にとっては悩みの種でした。

ここで、ハイテムのシステムが活躍します。鶏は、水分が75%ぐらいの状態ですら糞を排出しますが、鶏舎内のエコブリーズ等の糞乾システムで水分60%ぐらいまでに予備乾燥し、プレートドライヤーでさらに水分20%ぐらいまで乾燥します。この段階で水分が減るので120トンの鶏糞は40トンまで減量できます。ここまでの処理を数日の間に行うため、発酵が進みにくく臭いもあまり出ず、肥料成分の主要素、窒素、リン酸、カリが残った肥料に適した乾燥鶏糞ができます。田畑で農家が使いやすいようにハイテムペレットプラントで、ペレット状に加工して、さらに鶏糞に残っていた餌の中に入っている種子や菌を高温殺菌して高品質有機肥料ソイルボーンを製造します。



このようにできたソイルポーンは、発酵鶏糞の肥料と比べて窒素分が多く残っており、米作や畑作に適した肥料であることを岐阜大学との共同研究で証明しました。

そんな中、追い風になる「みどりの食料システム戦略」法案が今回の国会で可決される見込みです。この法案は、SDGs（持続可能な開発目標）とも関連しており、化学肥料の使用量を2050年までに30%削減するというものです。日本の農家はほとんど化学肥料を使用しており、ソイルポーンなどの有機肥料はあまり使われていないのが現状ですので30%が置き換わるということは、ソイルポーンの需要が増えるということにつながります。このような背景の中、ソイルポーンに取り組んでくれる養鶏場、ソイルポーンを使用してくれる生産農家のネットワークを拡げていくために、農水省の「知」の集積と活用、場産学官連携協議会の中に「次世代鶏糞利活用・高品質有機肥料普及プラットフォーム」をハイテムと最初にソイルポーンの製造を始めたお客さんのクレスト様、岐阜大学の3団体で3年前から立ち上げました。今までに2回のセミナーを開き、今後ソイルポーンの仲間を増やしていく活動も行っています。



ゆめうらの見学



セミナーの様子



参加した稲作生産会社



WEBの参加者

機械メーカーのハイテムが肥料のことにも取り組むことで、お客様の困りごとであった鶏糞処理の解決ができ、ハイテムのシステムも採用され、WIN-WINの関係が築けるということです。